

**令和5年度第3回昭島市民図書館協議会
(兼第2回子ども読書活動推進計画評価等会議)
会議録(要旨)**

[開催日時] 令和6年3月15日(金) 18:30~19:30

[開催場所] アキシマエンスィス 講習・研修室

[出席者]

- 1 委員: 稲垣会長、大坪副会長、金井委員、吉野委員、大串委員、津金委員、坂口委員
- 2 事務局: 梶原館長、石井副館長、磯村生涯学習部長、岩波アキシマエンスィス管理課長

[欠席者] 児島委員、財津委員、本多委員

[議事要旨]

- 1 開会
- 2 議題
 - 第3回昭島市民図書館協議会
 - (1) 令和5年度 図書館事業の進捗状況について
 - (2) 令和6年度 図書館事運営方針及び事業計画について
 - 第2回子ども読書活動推進計画評価等会議
 - (1) 令和5年度 子ども読書活動実態調査報告
- 3 その他

[配布資料]

- 資料1 令和5年度図書館事業の進捗状況について
- 資料2 令和6年度昭島市民図書館運営方針
- 資料3 令和6年度昭島市民図書館年間計画
- 資料4 令和5年度子ども読書活動実態調査報告
- 資料5 令和5年度子ども読書活動実態調査集計

[発言要旨]

2 議題

第3回昭島市民図書館協議会

(1) 令和5年度 図書館事業の進捗状況について

事務局 ※資料1の説明

会 長 ご質問、ご意見はあるか。

委 員 今年の全国の「図書館を使った調べる学習コンクール」ではネットに頼る人が多く、最終選考に残った中学生の作品では、記述の根拠になったのがネットと印刷物が半々だった。調べる学習をやっていて、自ら学ぶ力が付く。大学で課題を出したとき調べる学習を経験している学生は、自分で調べてその過程でわからないことを質問するが、あまり経験がない学生は、どうすればよいかを質問する。昭島でもぜひ継続してやってほしい。

委 員 NHKで図書館が写っていたが館内で撮影したのか。撮影したのであれば、実績をつけておいた方がよい。

事務局 ロケ実績を入れるようにする。

(2) 令和6年度 図書館事運営方針及び事業計画について

事務局 ※資料2、資料3の説明

会 長 ご質問、ご意見はあるか。

委 員 愛全園、偕生園にBMが行っている。入所者の刺激になっている。これからも続けてほしい。

事務局 昭島市のアウトリーチサービスは昭和49年から始まっており、病院を回るのを日本で初めてやった図書館。市はアウトリーチサービスを大事にしているので、これからも継続してやっていく。

第2回子ども読書活動推進計画評価等会議

(1) 令和5年度 子ども読書活動実態調査報告

事務局 ※資料3の説明

会 長 ご質問、ご意見はあるか。

委 員 学校ごとに朝読書のやり方があると思うが、自分の学校では朝読書の時間を設けず、登校したら読書をするよう指導している。朝読書の効果のひとつで、学習の始まりがスムーズになる。読む習慣がつくと、朝以外の隙間時間で読書をする児童もいる。

事務局 子どもたちが読む本は持参するのか。

委 員 持参する本もあるし、学級文庫や学校図書館の本を読む子もいる。その他に図書館

の団体貸出を全学級でしている。毎学期違う本を用意してくれるので大変ありがたい。

委員 小・中学校のアンケート最初の質問で、「読書推進事業において『読書』と認識している形態をすべて選択してください」とあるが、どんな回答を求めているのか。

事務局 求めている回答ではなく、各学校・先生方がどのように認識されているかを知るためのもの。

委員 「読書推進事業において」というのは何か関わってくるのか。

事務局 学校での読書に関する取り組みは「読書推進事業」であることから、朝読書など学校で実施している活動の中での認識を回答していただくもの。

委員 図書以外の項目は読書として認識していない学校があるが、市民図書館としてはどうなのか。

事務局 図書館の公式な見解は出していないが、インターネット以外は読書だと認識している。インターネットは内容によるので微妙なところではある。

委員 高校生へのある調査では、インターネットは小説を読むので読書、新聞は連載小説を読むので読書、雑誌はマンガも含めて読書という回答だった。先生方の意識とはだいぶ違っている。

委員 基本的には全部読書だと思う。インターネットはただ見てるだけでも含めると微妙かなと思うが。雑誌を読書として認識していないから学校図書館に置かないのかもしれない。

委員 小学校の「読書推進のために実施しているもの」にストーリーテリングが入っていないのはなぜか。

事務局 第三次昭島市子ども読書活動推進計画における実態調査票に基づき、今回の調査票を作成している。基本的に項目などは踏襲しているのでそれが理由。項目の追加は大きいので、次の計画更新時に追加したい。

3 その他

事務局 「図書館を使った調べる学習コンクール in アキシマ」応募作品数の1.5%である5作品が全国コンクールで5作品とも入選した。子どもたちはテーマ決めに悩むことが多いので、図書館ではテーマを絞っていく手伝いもした。

委員 作品を見ていると、子どもたちが一番関心を掻き立てられるのは学校の先生。教科書や、先生がちょこっと言ったことが意外と心に残る。もう一つの条件は本が近くにあること。家族、特に祖父母の存在もきっかけになる。

以上